

 矢立温泉 温泉旅館 伊豆の湯 伊豆市 伊豆山荘 TEL 0535-0031 FAX 0535-0032	ISO9001認証取得 下北半島 明日の発展の基に力めながら 北新機材株式会社 土木・建築資材販売 建設機械・仮設材レンタル 代表取締役 中村 昭芳 本社 青森県むつ市大字田名字上郷2-1 TEL (0176) 22-4160 FAX (0176) 23-457 TEL (0176) 22-4160 F.A.K 0176-22-1180 E-mail: info@hokushinkizai.co.jp	公認会計士 税理士 石下 雄三 〒035-0072 青森県むつ市金上17-14 TEL (0176) 22-4160 FAX (0176) 23-3799 E-mail: tbn@helen.ocn.ne.jp	全国へお花をお届けします フラワーショップ 花とも 青森県むつ市大字田名字上郷2番1号 TEL (0176) 22-0878 田名字上郷 FAX (0176) 22-2878 ナハナヤ	創芸 かしわや 相談役 柏谷 弘陽
株式会社 青工 むつ支店 支店長 浜道 博人 むつ支店 〒015-0073 むつ市中央2丁目3番7号 TEL 0175-24-2167 FAX 0175-29-3742	おしゃれたあなたに Enjoy Your Life 田名と風呂を約束します。 田名部クリーニング むつ市緑町15-8 TEL (0176) (22) 1535 駅前店 (22) 1013	真心で御奉仕する店 写真真館 婚約写真、記念写真、各種写真撮影、ビデオ撮影 学校実業アスリート写真、カメラ、写真用品、カラープリント 住所 むつ市緑町1丁目2番5号 (莞 正南) TEL 22-2021 FAX 22-2011	有限会社 西へーカリー おしよでのネットワーク 本店 もんがらん パ・おにぎり、弁当・調理・惣菜、 各種取り寄せなどお待ちしております。 むつ市新町9-25 23-0148	TKC戦略経営者支援システム 吉田会計事務所 有限会社 青森会計センター 公益社団法人 税理士 吉田 柳一郎 〒030-0812 青森県関町2-4-25 TEL (017) 777-3315 FAX (017) 775-4243

2026年度(令和8年度)メンバー紹介

							
理事長 坂本 脩輝	直前理事長 竹本 慎太郎	副理事長 成田 主秀	副理事長 谷川 卓	副理事長 茨沢 巧馬	専務理事 小林 貴大	総務委員会 委員長 大下彩香	会員拡大委員会 委員長 澤野 優人
秀建英	(南サンアイ地所)	(南みらい保険センター)	谷川設備工業㈱	㈱東京堂		しもきたツールズ㈱	Yu-tool
						2026年度も 宜しく お願い致します。	
まちづくり委員会 委員長 木村 恒	ひとづくり委員会 委員長 遠島 敬	総務委員会 副委員長 伊藤 拓郎	会員拡大委員会 副委員長 柳谷 伸	まちづくり委員会 副委員長 佐々木翔太	ひとづくり委員会 副委員長 藤井 翔太		
㈱むつ不動産取引センター	むつ市役所	リサイクル燃料貯蔵㈱	Lounge Bacch's	社会福祉法人みちのく福祉会	㈱フジイ		

ほそか耳鳴咽喉科クリニック むつ市中央1-3-36 TEL 23-0033 FAX 23-0003	齋佐藤政商店 むつ市横町一丁目6番9号 TEL (0175) 22-1191代	一般電気工事・設計施工 各種照明器具販売 一般建設業 齋北栄電工 むつ市横町2丁-115 TEL 22-1759 FAX 22-0850	やまざき製菓 むつ市横町一丁目8-43 電 話 (0175) 22-3525 FAX (0175) 22-6750	一般社団法人 日本塗装工業会会員 一般社団法人 日本建築・設備材料業協会 会員 有限会社 千葉塗装 代表取締役 千葉博之 青森県むつ市大字大湊字磯利1番地 TEL (0175) 24-1445代 FAX (0175) 24-3885	マエタ 青森県内 49 店舗 マチマート 元気=営業中!
宅地建物取引業・青森県知事免許(1)第190号 真心と信頼 齋大滝地建 むつ市柳町四丁目2番57号 TEL (0175) 22-7139 FAX 22-4481	角野太土地区画整理士事務所 事務所 〒035-0036 むつ市龍山2丁目7番7号 TEL (0175) 23-5150 FAX (0175) 23-7003	きのの 後藤 KIMONO ふりそで・レンタル&フォト・卒業式袴 七五三・着方教室・しめきき相談承ります むつ市金井1丁目14-19 ☎ (0175) 22-2647	自然があたえたる水を自然にかえしよう。 下北環境保全(株) 代表取締役 菊池 陽子 青森県むつ市横町一丁目11番7号 電 話 (0175) 22-1806 FAX (0175) 22-1806	櫛引亮建築設計事務所 〒035-0073 青森県むつ市中央二丁目20-7 TEL・FAX (0175) 24-2684	総合仏事 照目苑
喫茶&レストラン 薔薇 むつ市新町9-7 TEL 22-5842 FAX 22-0735	社会保険労務士 齋藤晃史事務所 むつ市下北町14-12 TEL 31-0409 FAX 23-7303	コンクリート製品、土木、建築資材販売 株式会社 大東商事 代表取締役 大場 悦二 〒035-0042 青森県むつ市金井1丁目10番3号 TEL (0175) 22-3407 FAX (0175) 22-3463	一般建築施工工・室内装工施工一式 (リフォーム・各種設計・施工承ります) 齊藤工建 1. 建築設計管理士、2. 建築士 齊藤 誠 Makoto Sakai 〒035-0021 青森県むつ市田名部字柳川1日5-5(松山) TEL & FAX 0175-23-3651	社会福祉法人 青森社会福祉協議会 特別養護老人ホーム みちのく荘 〒035-0067 青森県むつ市十二丁目1-13 TEL 23-1600 FAX 23-1601	TOTAL AUTOMOBILE EXCELLENCE TAX タックフルむつ
JUJUDO 有限会社 十字堂	あじぞも食堂 TEL 0175-31-0340 11:00-14:00、16:00-20:00 第2・4日曜定休	ファミリーファッション アステイ むつ中央本店・東青森店 盛岡店・矢巾店	宅建築許可 青森県知事(10)第2078号 青森都市開発株式会社 (代表取締役) 三浦 茂 不動産のことならなんでもご相談下さい 035-0051 むつ市新町43番10号 TEL 0175-22-8094 FAX 0175-22-8096	ねむのき 有料老人ホーム・デイサービス http://nemunoki.info/	ここにち、もっと笑顔を増やしたい。 損害保険・生命保険の総合コンサルティング むつ保険センター MUTSU INSURANCE CENTER TEL 0175-34-9710

本年度、広報委員会では職務分掌に記載されています「活動状況の発信」をもとに、より多くの地域の皆様に青年会議所の活動状況を届けることを目的として活動してまいりました。

まず取り組んだのがInstagramアカウントの作成です。多くの皆様に活動状況を届けるため、FacebookやLINEの活用も進めてまいりました。

今年一年を通じて様々な活動状況を発信してまいりましたが、その中で感じたことは正しく情報を伝える事の難しさです。普段生活する中で様々な情報があり、同時に興味を持てなかったり注視しなかったことに反響した事を覚えています。広報委員会として活動する中で、情報に目を傾けたり、目を向ける事の重要性を学びました。正しい情報発信する事でどんな効果が生れるのかという事も考えるようになり、広報誌を見かける度に興味を持って拝読する様になりました。

特に印象に残っているのが、八月に開催した徒歩事業の「しもきたウォーク」に記録係として同行した時でした。参加していただいた高校生ボランティアや小学生の子供達の良い写真を撮らねばと緊張していた事を覚えています。やはり初めは初対面という事もあり、納得のいく写真が撮す悩みましたが、コミュニケーションづくりからやってみようと考え、実行してみました。その結果、皆さん打ち解け、自然な笑顔や表情を写真に収めることができるようになりました。

撮影した写真を整理し振り返ってみると、良い表情の

REPORT

広報委員会 副委員長
小林 貴大

委員会報告



REPORT

総務委員会 委員長
南谷 悦臣

委員会報告



REPORT

総務委員会 委員
藤井 翔太

出向者報告



本年度青森ブロック協議会は、再興・最高の時代に、のスロガのものと、Javaceとして大切なことを今一度見直し、今の時代に即した道とは違う道を開くことを意識して活動してきました。私はLOM支援委員会として、青森ブロック各LOMの成長と課題を解決するための支援を行ってまいりました。

一月、二〇二四年度青森ブロック会長の山口知宏君をお招きし、青森、ロックインのLOMで問題となっている継続事業に計画し埋め尽くされ、新たな挑戦が必要という課題を提示するたの新たな組織運営に開いてこの講演いただきました。地域にとって必要な事業を新たな組織に譲渡し運営していくノウハウを学ぶことができました。

四月、日本Jシニア・クラブ、拡大支援委員会東日本統括本部長柳一先華をお招きし、柳一先華がJIC活動を通して築き上げた経験と人脈を活かし、現在の経営を成功させた経験から、どのようなJIC活動をする自分の事業や生活に活かしていくかを学びました。

七月、姫路青年会議所OBの河相和也先輩をお招きし、マイノリティ管理についていっしょに開きました。情報やスケジューリング管理についていっしょに現代人の脳内を整理するための、実生活に役立つスキルを学ぶことができました。

更に、「JICプログラムの推進、災害時の対応、青森県社会福祉協議会の連携と、多角的に青森ブロック各LOMの支援を行いました。

加澤ブロック会長の言葉として、LOM支援委員会が必要のない青森ブロック協議会の実現として、県内各LOMメンバーがJavaceとしての存在意義をよく理解し、自発的に成長していく行動をするメンバーの育成の為に何ができるかを委員会メンバーとよく話し合い、セミナー等を通して多くの県内LOMメンバーに発信することができた一年だと考えております。五所川原青年会議所から出向している佐々木康幸委員長がリーダーシップを発揮しながら、佐々木委員長自身をブランド化し、多くのセミナー受講者を勧誘することができました。

青森ブロック協議会を成長のチャンス、LOMを離れて出向する多くの学びと成長のチャンスが期待できます。県内各LOM出向者を出すことができればいいほど人材不足ではありますが、そんな今だからこそ勇気をもって未知の舞台に挑戦することが、JICに関わらず必要なことだと強く訴えていきたいと思ひます。

昨年一月に準会員として入会し、一年が経ちましたが、多岐にわたる活動で、直接のきっかけは、同級生である竹本理事長が次年度に理事長になることが決まり誘われたことでした。以前から誘われていて、あと一年くらいないかなと思つたことも正直なところですが、大きな思いとしては、私は斗南藩に縁があつて斗南青年連の事務局長をしていることもあり、むつ市が会津・斗南に属する活動を長年続けていくことにあります。

活動していく中で印象的だったことの一つに、メンバー同士でもっと感謝されたいと多いことがあり、入会した中で、事業への参加は協力は普通のことだと思つていましたが、一つの事業をつつめには何か月前から準備をし、理事会で議決の意見をしなが、事業を構築していくと周りに対して自然とそのような気持ちになることができました。

一年目の私は、深く事業の構築から係わることもなく、楽し活動に参加させていただきましたが、活動期間あつた一年で、自己成長として活動していくことになり、また会津・斗南の歴史をどのように繋いでいくのか考えるため、しっかりと修練していきたいと思います。

REPORT

総務委員会 委員
遠島 敬

新入会員活動報告



写真ばかりで、自分でも納得のいく写真を撮ることができ、コミュニケーションの大切を実感しました。この事業を通して高校生、小学生、そして協力いただいた先輩方の皆様から、私自身が大きく成長させていただいた事を深く感じました。改めて感謝申し上げます。未経験の事に挑戦するには勇気が必要ですが、勇気を出して踏み出した一歩は大きな効果や学びを生み出してくれる事を学びました。これらの経験を今後の青年会議所活動や私生活にも活かし通していきたいので、ご理解とご協力を願いますようお願い申し上げます。

社会開発委員会では、三月定例会と八月定例会を担当させていただきました。三月定例会では、八月定例会で実施予定の徒歩事業に関する事業構想の説明を行いました。また、平成二十六年度実施五十五周年記念事業「まさかりロード」担当理事で、卒業後も継続的に地域活動に尽力されている高屋敷一先華から、「まさかりロード」で得た学びについて、また青年会議所を通じて得た学びについて事業構築の観点から貴重な講演をいただきました。さらに、過去の徒歩事業経験者である先輩方を交えたグループワークを実施し、過去の反省点共有、今回の事業をこれまでを超えるパワーアップした内容にするための意見交換を行いました。先輩方のお話を聞く中で、私自身、「困難を目的にしたこと、出来ない理由ではなく、出来るようする方法を考えられる人になりたい」という、青年会議所入会当時の思いを改めて振り返ることができました。参加いただいた先輩方、誠にありがとうございました。

八月定例会では、むつ青年会議所として七年ぶり開催となる徒歩事業「しもきたウォーク」を実施いたしました。地域の課題である人口減少の要因の一つとして、進学や就職をきっかけに地元を離れ、戻らない若者が多いことが挙げられます。進学・就職で地元を離れる前の短い時間の中で、子どもたちが地域会や住民に対する愛着と誇りを持ち、故郷での挑戦に繋がる自己成長意欲を育むことが必要だと、本事業を実施しました。

コースは、臨野沢港からまさかりプラザのイベント広場まで、一泊二日でおよそ四十キロを歩く陸奥湾沿いの陸地からポートに乗船させいただき、海上自衛隊大湊地方隊基地からポートに乗船させいただき、戸崎港を周遊する体験を行いました。また、中学校の体育館では、参加者自身が行った、防災用の食糧を準備し、実際の食事をとるという、実践的な防災体験も実施しました。当日は小学生四十六名生七名と、高校生ボランティア七名と参加いただき、全員が無事徒歩することが出来ました。特筆すべきは、高校生ボランティアの中に、過去の徒歩事業に参加者が加わったことです。学生になった参加者が現在に駆けつけてくれ、先輩方が築いてきた事業の「つながり」を強く

REPORT

総務委員会 委員
遠島 敬

新入会員活動報告



写真ばかりで、自分でも納得のいく写真を撮ることができ、コミュニケーションの大切を実感しました。この事業を通して高校生、小学生、そして協力いただいた先輩方の皆様から、私自身が大きく成長させていただいた事を深く感じました。未経験の事に挑戦するには勇気が必要ですが、勇気を出して踏み出した一歩は大きな効果や学びを生み出してくれる事を学びました。これらの経験を今後の青年会議所活動や私生活にも活かし通していきたいので、ご理解とご協力を願いますようお願い申し上げます。

社会開発委員会では、三月定例会と八月定例会を担当させていただきました。三月定例会では、八月定例会で実施予定の徒歩事業に関する事業構想の説明を行いました。また、平成二十六年度実施五十五周年記念事業「まさかりロード」担当理事で、卒業後も継続的に地域活動に尽力されている高屋敷一先華から、「まさかりロード」で得た学びについて、また青年会議所を通じて得た学びについて事業構築の観点から貴重な講演をいただきました。さらに、過去の徒歩事業経験者である先輩方を交えたグループワークを実施し、過去の反省点共有、今回の事業をこれまでを超えるパワーアップした内容にするための意見交換を行いました。先輩方のお話を聞く中で、私自身、「困難を目的にしたこと、出来ない理由ではなく、出来るようする方法を考えられる人になりたい」という、青年会議所入会当時の思いを改めて振り返ることができました。参加いただいた先輩方、誠にありがとうございました。

八月定例会では、むつ青年会議所として七年ぶり開催となる徒歩事業「しもきたウォーク」を実施いたしました。地域の課題である人口減少の要因の一つとして、進学や就職をきっかけに地元を離れ、戻らない若者が多いことが挙げられます。進学・就職で地元を離れる前の短い時間の中で、子どもたちが地域会や住民に対する愛着と誇りを持ち、故郷での挑戦に繋がる自己成長意欲を育むことが必要だと、本事業を実施しました。

コースは、臨野沢港からまさかりプラザのイベント広場まで、一泊二日でおよそ四十キロを歩く陸奥湾沿いの陸地からポートに乗船させいただき、海上自衛隊大湊地方隊基地からポートに乗船させいただき、戸崎港を周遊する体験を行いました。また、中学校の体育館では、参加者自身が行った、防災用の食糧を準備し、実際の食事をとるという、実践的な防災体験も実施しました。当日は小学生四十六名生七名と、高校生ボランティア七名と参加いただき、全員が無事徒歩することが出来ました。特筆すべきは、高校生ボランティアの中に、過去の徒歩事業に参加者が加わったことです。学生になった参加者が現在に駆けつけてくれ、先輩方が築いてきた事業の「つながり」を強く

REPORT

人間開発局 局長
谷川 卓

委員会報告



人間開発局は今年度の職務分掌「未来を共に創造できる人材の発信」「基本方針に沿った例会の企画・実施」に基づき、「魅力あるJAVACEの確立に向けた事業の企画・実施」「異業種交流会の企画・実施」「未来へつながる組織づくりのための事業の企画・実施」という三つの事業を計画、実施してまいりました。

まず、一月には、組織の理念・意義、目的を改めて振り返り、意識高揚を図ることを目的として、日本青年会議所賛助企業のアチーブメント株式会社様にご協力いただき、「理念共感拡大セミナー」を開催いたしました。多種多様な考え方を持つ青年会議所において、理念から入ることの難しさはあるものの、理念をしっかりと設定すること、組織の考え方が明確になり、進むべき道が見えてくるのを感じていただけたかと存じます。

五月には、多くの若手経済人交流を深め、将来的に新たな仲間を増やすことにつながることを目的として、異業種交流会を開催いたしました。佐々木翔太さんが入

REPORT

人間開発局 局長
谷川 卓

委員会報告



人間開発局は今年度の職務分掌「未来を共に創造できる人材の発信」「基本方針に沿った例会の企画・実施」に基づき、「魅力あるJAVACEの確立に向けた事業の企画・実施」「異業種交流会の企画・実施」「未来へつながる組織づくりのための事業の企画・実施」という三つの事業を計画、実施してまいりました。

まず、一月には、組織の理念・意義、目的を改めて振り返り、意識高揚を図ることを目的として、日本青年会議所賛助企業のアチーブメント株式会社様にご協力いただき、「理念共感拡大セミナー」を開催いたしました。多種多様な考え方を持つ青年会議所において、理念から入ることの難しさはあるものの、理念をしっかりと設定すること、組織の考え方が明確になり、進むべき道が見えてくるのを感じていただけたかと存じます。

五月には、多くの若手経済人交流を深め、将来的に新たな仲間を増やすことにつながることを目的として、異業種交流会を開催いたしました。佐々木翔太さんが入

REPORT

人間開発局 局長
谷川 卓

委員会報告



人間開発局は今年度の職務分掌「未来を共に創造できる人材の発信」「基本方針に沿った例会の企画・実施」に基づき、「魅力あるJAVACEの確立に向けた事業の企画・実施」「異業種交流会の企画・実施」「未来へつながる組織づくりのための事業の企画・実施」という三つの事業を計画、実施してまいりました。

まず、一月には、組織の理念・意義、目的を改めて振り返り、意識高揚を図ることを目的として、日本青年会議所賛助企業のアチーブメント株式会社様にご協力いただき、「理念共感拡大セミナー」を開催いたしました。多種多様な考え方を持つ青年会議所において、理念から入ることの難しさはあるものの、理念をしっかりと設定すること、組織の考え方が明確になり、進むべき道が見えてくるのを感じていただけたかと存じます。

五月には、多くの若手経済人交流を深め、将来的に新たな仲間を増やすことにつながることを目的として、異業種交流会を開催いたしました。佐々木翔太さんが入

REPORT

人間開発局 局長
谷川 卓

委員会報告



人間開発局は今年度の職務分掌「未来を共に創造できる人材の発信」「基本方針に沿った例会の企画・実施」に基づき、「魅力あるJAVACEの確立に向けた事業の企画・実施」「異業種交流会の企画・実施」「未来へつながる組織づくりのための事業の企画・実施」という三つの事業を計画、実施してまいりました。

まず、一月には、組織の理念・意義、目的を改めて振り返り、意識高揚を図ることを目的として、日本青年会議所賛助企業のアチーブメント株式会社様にご協力いただき、「理念共感拡大セミナー」を開催いたしました。多種多様な考え方を持つ青年会議所において、理念から入ることの難しさはあるものの、理念をしっかりと設定すること、組織の考え方が明確になり、進むべき道が見えてくるのを感じていただけたかと存じます。

五月には、多くの若手経済人交流を深め、将来的に新たな仲間を増やすことにつながることを目的として、異業種交流会を開催いたしました。佐々木翔太さんが入

REPORT

人間開発局 局長
谷川 卓

委員会報告



人間開発局は今年度の職務分掌「未来を共に創造できる人材の発信」「基本方針に沿った例会の企画・実施」に基づき、「魅力あるJAVACEの確立に向けた事業の企画・実施」「異業種交流会の企画・実施」「未来へつながる組織づくりのための事業の企画・実施」という三つの事業を計画、実施してまいりました。

まず、一月には、組織の理念・意義、目的を改めて振り返り、意識高揚を図ることを目的として、日本青年会議所賛助企業のアチーブメント株式会社様にご協力いただき、「理念共感拡大セミナー」を開催いたしました。多種多様な考え方を持つ青年会議所において、理念から入ることの難しさはあるものの、理念をしっかりと設定すること、組織の考え方が明確になり、進むべき道が見えてくるのを感じていただけたかと存じます。

五月には、多くの若手経済人交流を深め、将来的に新たな仲間を増やすことにつながることを目的として、異業種交流会を開催いたしました。佐々木翔太さんが入

REPORT

人間開発局 局長
谷川 卓

委員会報告



人間開発局は今年度の職務分掌「未来を共に創造できる人材の発信」「基本方針に沿った例会の企画・実施」に基づき、「魅力あるJAVACEの確立に向けた事業の企画・実施」「異業種交流会の企画・実施」「未来へつながる組織づくりのための事業の企画・実施」という三つの事業を計画、実施してまいりました。

まず、一月には、組織の理念・意義、目的を改めて振り返り、意識高揚を図ることを目的として、日本青年会議所賛助企業のアチーブメント株式会社様にご協力いただき、「理念共感拡大セミナー」を開催いたしました。多種多様な考え方を持つ青年会議所において、理念から入ることの難しさはあるものの、理念をしっかりと設定すること、組織の考え方が明確になり、進むべき道が見えてくるのを感じていただけたかと存じます。

五月には、多くの若手経済人交流を深め、将来的に新たな仲間を増やすことにつながることを目的として、異業種交流会を開催いたしました。佐々木翔太さんが入